

氏名

わしお	あやこ
鷺尾	絢子

所属	歯学部歯学科口腔機能学講座口腔保存治療学分野		
職名	講師		
最終学歴	九州歯科大学大学院 歯学研究科	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	歯の治療学Ⅰ	2 単位 2.0 時間 56.0 時間 歯学科
	歯の治療学Ⅱ	2 単位 10.0 時間 56.0 時間 歯学科
	臨床推論学Ⅰ	2 単位 2.0 時間 0.0 時間 歯学科
	口腔治療リハビリテーション系歯科医学Ⅰ 大学院講義・演習・実習	2 単位 6.0 時間 0.0 時間 口腔保健学科 12 単位 120.0 時間 120.0 時間 大学院
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）		
研 究 分 野		歯および根尖歯周組織の診断・治療法および再生治療法の確立
研究課題	課題名	1. 歯髄および根尖歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明 2. 象牙質・歯髄複合体および根尖歯周組織の再生療法の確立 3. 歯の治療システム（根管洗浄）および材料の開発・確立 4. 歯科医療における診断・治療法の確立 5. 難治性歯痛に対する診断・治療法の確立 6. 診療環境の新たな感染制御法の確立
	キーワード （5つまで）	象牙質・歯髄複合体、根尖歯周組織、創傷治癒、再生療法、歯の治療
	共同研究等の 実績	1. 京都大学再生医科学研究所田畑泰彦教授との共同研究：象牙質・歯髄複合体および根尖歯周組織の再生医療 2. 企業との共同研究：歯内治療用材料（根管充填用シーラー、覆髄材など）の開発
研 究 業 績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	鷺尾絢子, 村田一将, 諸富孝彦, 北村知昭: ペースト/粉末比が異なるBioactive Glass配合セメント間の界面. 日本歯内療法学会雑誌, 43(1): 11-15, 2022.	
	鷺尾絢子, 諸富孝彦, 西藤法子, 吉居慎二, 藤元政考, 折本 愛, 相原良亮, 北村知昭: 保存修復学・歯内療法学の基礎教育における体験先導型学習・シナリオベース体験実習が卒前後歯学教育に及ぼす影響に関するアンケート調査. 日本歯科保存学会雑誌, 65(2): 2022.	
	Murata K, Washio A, Morotomi T et al.: Physicochemical Properties, Cytocompatibility, and Biocompatibility of a Bioactive Glass Based Retrograde Filling Material. nanomaterials, Jul 14:11(7):1828, 2021.	
	Washio A, Miura H, Morotomi T et al.: Effect of Bioactive Glass-Based Root Canal Sealer on the Incidence of Postoperative Pain After Root Canal Obturation. Int J Environ Res Public Health, Nov 28:17(23):8857, 2020.	
Washio A, Oda M, Morimoto Y, Kitamura C: One-year follow-up maxillary right first and second molars sealed with bioactive glass-based root canal sealer using the single-cone obturation technique. 日歯保存誌, 63(1), 90-95, 2020.		
産学官連携実績 （主要3件）	新規歯科用セメント（根管用シーラー、覆髄材）の開発	
産学官連携 可能・希望分野	歯髄および根尖歯周組織の診断・治療法および再生治療法の開発に関連する分野（生体材料関連）	
取得した実用新案特許等 （主要5件）		
所 属 学 会 （主要5件）	日本歯科保存学会、日本歯内療法学会、日本再生医療学会、日本バイオマテリアル学会、日本防菌防黴学会	